

## 平成29年度 第4回葉山町環境審議会議事録

日時：平成30年3月29日（木）10時00分～12時00分

場所：葉山町役場庁舎3階 議会協議会室2

出席者

（会長）原科 幸彦

（副会長）加藤 清

（委員）錦澤 滋雄、人見 孝、三井 修、石井 春夫

相馬 立夫委員と矢嶋 壮二委員は欠席

（事務局）伊藤 義紀、坂本 泰一、雨宮 健治、小野 卓矢

審議事項

（1）環境基本計画に基づく状況報告について

（2）その他

原科会長

予定時刻となりました。これより平成29年度第4回環境審議会を開催します。本日の出席委員について事務局からお願いします。

坂本環境課長

本日は相馬委員から欠席のご連絡をいただいています。現時点での委員の出席人数は6名となっています。

原科会長

事務局からのお話のとおり、本日の出席委員は8名の委員のうちの6名です。よって出席委員数は過半数に達していますので、環境審議会規則第5条第2項の規程により、会議は成立となります。議題に入る前に、傍聴の取り扱いについて確認させていただきます。前回会議で会議冒頭から、傍聴者の方に入場していただくことになっておりますので、本日もお一人の方に入室していただいています。よろしいでしょうか。

各委員

異論なし。

原科会長

それでは議題に移ります。議題は「環境基本計画に基づく状況報告について」です。これについては事務局から説明させていただきます。

坂本環境課長

環境基本計画に基づく状況報告の前に、前回の審議会の中で資料提出のお約束をしていたものについて簡単にお話をさせていただければと思います。

第11回くるくる市（平成30年2月24日実施）で行ったアンケートの結果と環境配慮の取組み

環境配慮の対象になりうる事業一覧

についてです。この2点についてお話をさせていただきます。

小野主任

私からお話します。まずくるくる市ですが、特に大きな変更や課題等はありませんでしたが、前回の審議会でのお話を受けて今回はイベントの趣旨や目的、葉山町が環境に配慮している、していくということを目に見える形にして発信していこうということで、それらをまとめた簡単なチラシを作成し、掲示をしました。会場のアンケート回答スペースに掲示をし、それを見た上で回答していただきました。「葉山町が率先して環境に配慮し、それを皆様に発信をしていくことについてどう思いますか。」というアンケートの問に対し、90%近くの方から好意的な反応がありました。また同様のアンケートの中で、「日常生活の中で、周囲の環境に気がつかっていることがあれば教えてください。」という質問をし、日常生活の中での環境配慮についてみなさんに改めて考えていただきました。ごみに関連した配慮行動を挙げていただく方が多く見られた一方で、挨拶などマナー面での配慮行動を挙げていただく方もいらっしゃいました。

環境配慮の対象になりうる事業ですが、政策課で作成した後期実施計画事業の中からいくつか抜粋し一覧としてまとめました。併せて各課に事業を行う上での環境面での課題・困りごと等を聞き、その内容を付記しているので、これらを参考にお話し合いをお願いします。

原科会長

ありがとうございます。くるくる市について何か質問・意見はありますか。

三井委員

参加人数は横ばいである程度定着しきった、飽和状態にあるのかなと感じますがどうですか。

雨宮環境課長補佐

開催する時間帯を工夫をするなど、変化球を入れながらイベントの今後の方向性を探っていきたいと思います。ただいらっしゃる方が増えすぎても会場の収容能力を超えてしまいますのでバランスを伺いながら今後の対応を考えたいと思います。

錦澤委員

物々交換されずに残り、結果的に廃棄するものもあるのでしょうか。

雨宮環境課長補佐

物々交換されずに残ったもののうち、洋服などは、リユース業者がまとめて持って行きます。ただ、ボロボロになってしまった本や、破損したプラスチック製品などはどうしても引き取りの対象外とされてしまいます。そういったものは最終的に廃棄処分の対象となります。

錦澤委員

町外の方でも持ち帰ることができるのであれば、もう少し外に向けてイベントのアピール・アナウンスをしても良いのではないかと思います。現状会場の収容能力を超えているというお話なので中々難しいですね。

雨宮環境課長補佐

実際に廃棄処分するものは、再利用が難しいほぼごみに近いようなものが多いです。

伊藤環境部長

体育館など大きく場所がとれるところを検討する等、様々な側面から検証しながら事業の拡大を図っていくやり方もあると思います。また、同時に環境課としてこういった目的でイベントを開催しているかなどを積極的にPRしていく必要はあると思います。

錦澤委員

子育てで使うものは使用期間が特に短いので、そこをターゲットにして周知すると良いかなと思います。

伊藤環境部長

電子・紙両方の媒体を使い分けて、幅広い世代の方に周知を行っていきたいと思います。

原科会長

イベントとして大分定着しつつあるようです。それでは、「環境基本計画に基づく状況報告について」です。事務局からご説明をお願いします。

小野主任

それでは、ご報告をさせていただきます。

**「はやまの環境 平成 29 年度 (平成 28 年実績)」に沿って状況報告**

「はやまの環境 平成 29 年度」はHPの以下の場所に掲載

#### 報告内容 補足

アライグマ・タイワンリスの捕獲数は年度間でばらつきがあるものの、全体の生息数についてはやや減少傾向にあると思われる。

生活排水処理施設整備（下水道・合併浄化槽等）は順調に普及が進んでいる。合併浄化槽については、今後も既存の補助金制度を継続し、普及拡大に努めたい。

野焼きのやり方・薪ストーブの使用方法をめぐり苦情が近年増えているため、今後の対策について検討する必要がある。

リサイクル掲示板・くるくる市などリユースの取組みは一定の件数・規模を維持しており順調に定着しつつある。

ごみの排出量は可燃・プラスチック系ともに近年大きな変化は無く、安定している。ごみ処理基本計画は平成 30 年度改訂予定。生ごみの堆肥化について計画の中で位置づけを行う。これにより資源化率は 60 パーセント近くまで上昇する見込み。

平成 30 年度以降も生ごみ処理容器の普及拡大に努め、販促キャンペーンの実施や、ラインナップの充実を図っていく予定。

#### 原科会長

ありがとうございました。以上ですが、報告全体を通して何かございますか。

#### 三井委員

環境の話をする際に、河川のことはよく出てきますが、止水域にはあまり目を向けられていないように思います。今、葉山の環境に足りないのは、池・田んぼ・ため池といった、子どもたちが本来遊んでも良い場所にも目を向けることだと思います。現状、木古庭にあるため池は、まるで死の池のようになってしまっています。もともとあった美しいため池に目を向けるような、環境課の土壤が欲しいと思います。

#### 雨宮環境課長補佐

葉山町は池自体が少ないですし、私有地に該当すると活用が難しかったり、また事故の問題もあつたりしますので、難しい部分も多いかなと思います。

#### 三井委員

止水域がないと、豊富な生き物というのは難しいので、少しでも目を向けていただければと思います。

原科会長

NGOの皆さんが行っている活動を上手くつないで、町がサポートできれば良いですね。

加藤副会長

下山川・森戸川の水質データが記載されていますが、測定場所は数箇所なのか、一点なのか。またどのような場所での測定になりますか。

雨宮環境課長補佐

このデータは神奈川県が集計しているものです。測定場所は一点です。河口付近を中心にしています。

錦澤委員

温暖化問題はパリ協定も締結され、これから環境問題の中でも重要になってくる分野です。国も今後力を入れていくようなので、温暖化対策にもう少し焦点を当ててほしいと思います。温暖化の話は、緑地保全や省エネなどにも関わってきますし、だからそういった意味では既存の行っている施策を束ねる形になると思います。それに加えて、災害関係の事も絡めた記述があるとなお良いと感じました。

雨宮環境課長補佐

一事業者としての葉山町の温室効果ガスの排出量については、かつて、し尿を焼却処理していた時は中核市レベルの排出量でした。しかし、温暖化の話が出てきたことと、重油の高騰を受けて、焼却処理をやめました。加えてLED照明等を積極的に導入したことで温室効果ガスの排出量は過去に比べて大幅に減りました。

原科会長

葉山町全体で見た場合の排出量はどうですか。

雨宮環境課長補佐

今現在、町全体を対象にした計画は作成していなくて、葉山町役場という一事業体を対象にした計画しか作成していないので、町全体での排出量の動向・推移については把握していません。しかし、エネファーム・LEDなどの普及は進んでいるようなので、エネルギーの消費自体は下がっているのかなと感じています。あとは、緑地の整備・手入れを進めて、土砂災害への対策に備えたり、温室効果ガスの吸収率を高めたいと思います。緑地を吸収帯として捉えて、それを管理するコストが意義あるものと見ていただけると民間が保有している山林の維持管理も進むし、地方の整備されていない山林を、

都会の企業が吸収帯として捉えて購入するという図式ができると、都会のお金が地方に流れて、成り手がいない山の整備をする方達の仕事や給料を生むということが予測できると思います。結果として緑地・山林の整備が進むことで、土砂災害などの抑止になったということが言える可能性もでてきます。人や町への被害が少なくなることで、トータル的に、温室効果ガスの排出はもっと下げられるのではないかと考えています。

原科会長

他に何かございますか。

人見委員

「はやまの環境」を使った状況報告の中で、事務局から前向きなお話をいくつか伺うことが出来ました。そういったことを何か資料としてまとめていただいて、今後どうするかということを審議会の場で意見交換ができるとなお良いなと感じました。

雨宮環境課長補佐

そうですね。様々なデータや事象を分析した結果として、こうしたい・こうしていこうというご提案や発信をしていくのが筋だと思います。

坂本環境課長

貴重なご意見ありがとうございました。

原科会長

今日の議事はここまでにしましよう。来年度の予定について事務局に伺います。

坂本環境課長

来年度は全3回の開催を予定しています。日程は未定ですが、第1回は7月～9月頃を予定しています。本日はありがとうございました。